

韓国高麗大学研修に関するレポート

放射線学部1年
学籍番号 122033 三木遼祐

●授業について

私は高麗大学の授業を受けて、さまざまなことを感じました。第一に、授業がすべて英語だということにかなり驚きを感じました。私の学校では、英語の授業ですら、すべて英語であるということはないのに、放射線の授業をすべて英語で授業をする姿がとても新鮮に感じました。高麗大学での授業は生徒たちひとりひとりの机に一台のパソコンが与えられ、先生がモニターに映していることをそのパソコンでも見られるようにできていました。授業内容としては、放射線の専門分野の授業でしたので、概論しかやっていない一年の私にはかなり難しい内容でした。しかし、同じ授業を受けている韓国の方や大野先生が授業の内容を少し説明してくださったので、少しだけ理解することができました。どこに放射線を当てれば最も効率よく治療したいところにあてることができるのかという内容の授業をしていました。少しは映像での授業もあったので、そこでなんとか、先生の言いたいところが分かった気がしました。右上からあてるとどうなるか、左上からあてるとどうなるか、真上からあてるとどうなるかということを映像で教えてくださいました。それでも、理解できる場所は少なく、難しい内容の授業をしているのだなと感じさせられました。しかし、高麗大学の学生たちは先生の言っていることを理解しているように見え、賢く素晴らしい生徒たちだなと感じました。どうしてこんなに良く理解できるのかと、同じ授業を受けていた韓国の方に尋ねてみたところ、その韓国の方は夏休み中に今回自分たちの受けた授業内容を予習していたそうです。予習の大切さを改めて実感した瞬間でした。私も後期の授業が始まって、専門分野の授業が増えていき、先生の授業についていけずに苦しむのなら、予習、復習をきちんとして、その日のうちに授業内容が理解できるような授業の受け方をしていきたいと感じました。

●海外から見た日本人について

上のサブタイトルにもあるように海外から見た日本人とはどのようなものなのかというのを実際に高麗大学の生徒の方に質問してみました。すると、「大阪人は本当にボケをするのでノッてくれたり、突っ込んでくれたりするのかわ？」といったようなユニークな質問が返って来たりしました。外国の人たちの日本に対する見方は想像通りのところが多くて、安心しました。それと、今回は韓国だったので顔など、似ているところが多かったですが、

スタイルなどで異なる点がありました。韓国には太っている人がとても少ないという印象を受けました。なので、韓国から見た日本人は太っている人が多いかもしれません。それに韓国の人は背の高い人が多かったです。男性、女性に限ったことではありませんが、男性は特に背が高い人が多いように感じました。海外からみたら、日本人の背は小さいのかもしれないです。次に、海外から見た日本人は歩くのが遅いのかもしれない、と感じました。それは街の中を歩いているときにも感じましたし、地下鉄で道行く人とすれ違う時にも感じました。人々の歩いている速さが自分たちより速かったです。

韓国に行くと、最近のニュースであるような反日の動きがあるのかもしれない、と少し不安視していた面もありましたが、実際に行ってみると、韓国の方はとても親切な人が多く、優しく、気配りができる紳士的な男性が多かったです。反日の動きなど全く感じさせない振る舞いでしたので、とても安心しました。今回の研修では、女性の方とはあまり関わりを持たなかったのが韓国の女性にはどのような方が多いのかわかりませんでした。おそらく男性と同じく親切で優しい女性が多いと考えています。海外から見た日本人として、私たちも良い印象を与えられるように努めました。

韓国のバスで、バスガイドの方が教えてくださったことですが、日本に限らないが、相手は韓国語が通じないから、売り手が高めの値段設定をしてきて多くお金を取ろうとするときがあるから買い物には気を付けてと教えていただきました。きちんと値段を日本円に変えてよく考えてから買ったほうがいいですよと言われました。海外からみた日本の印象として、モノを買わせやすい客であるのかなと感じました。日本人は気弱なイメージが定着してしまっているのは韓国に行って買い物をしているときなどにも感じました。お店にもよりますが、韓国の人はどんどん自分の店の物を買わせようとしてきました。

韓国人は人ごみをかき分けて進むときにほかの人と肩などがぶつかっても、少しの謝罪などもせず何もなかったかのように過ぎて行ってしまいました。日本人なら、多少なりの謝罪の気持ちを示す行動をとるところであると感じました。海外の方はそのようなにあまり謝らない人ばかりであるのかと感じたのと同時に、日本人がすぐに謝りすぎているのかな、とも感じました。

韓国の授業を受けた時にも感じたことでもありますが、海外の方々の英語は本当にきれいで上手なものでありました。話し方もとても流暢であったし、英語を書くのもとても早く、かなり驚きました。韓国の方も英語を勉強したのは日本人と同じ小学生のころであると教えてくれました。海外の英語の教育の仕方と、日本での英語の教育の仕方とでは大きな相違点があるのではないかと感じました。同じ大学生なのに英語のレベルが日本と韓国とでかなり異なっていました。海外から見たら日本人は英語が下手という印象を与えているのかもしれないと感じました。日本の英語教育も改善して、いかなければならないのかなと感じました。